



2014-15年度 国際ロータリー第2790地区

世界理解月間

ガバナー月信

VOL. **8** 2015年2月号

COPY FOR MEMBERS
発行/2015年2月1日



ロータリー研究会にて他地区同期ガバナーと共に（平成26年11月）

世界理解月間に思う

寒中の冬晴れが続きインフルエンザが猛威をふるっています。皆様 如何お過ごしですか。

今月は世界理解月間です。世界理解月間は1905年2月23日（木）ポール・ハリス、ガスターバス・ロア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの四人がシカゴ市で初会合を持った日を記念して設けられました。以来110年の時が流れ、今年終戦から70年の節目にあたります。私達は今、周囲を取り巻く様々な問題に平和の尊さを伝えるオピニオンリーダーとして行動すべき時だと感じます。政治的には無力ですが人として平和を願い、二度と繰り返してはならない戦争に立ち向かい、世界平和について自らの問題として真剣に取り組んで行きたいと思います。

もう昨年のお話になりますが、2014年ノーベル物理学賞に3人の日本人が選出されました。皆さんご存知の、赤崎教授、天野教授の師弟コンビと米カリフォルニア大の中村教授で、青色発光ダイオードの開発、製品化が受賞理由です。街には青いイルミネーションが輝き、光の3元色である赤、緑、青の3色が揃った事から明るく省エネ型の白色光源を作り出すことが可能になりました。LEDの普及は地球温暖化にも貢献し、日本の青色半導体によるレーザー開発技術は、大量の情報が記録できる次世代光ディスクの読み取りで世界をリードしています。

そして注目された平和賞にはパキスタンの17才の少女マラ

ラ・ユスフザイさんが選ばれました。彼女は国連で「一人の子供、一人の教師、一冊の本、そして一本のペン、それで世界を変えることができます。教育は唯一の解決策です。私達の学校を取材にきたジャーナリストの一人が、少年に尋ねました。『なぜ、タリバンは教育に反対しているの?』彼は自分の本を指さしながら『タリバンはこの本の中に書かれていることがわからないからだ』と答えました。皆さん、無学、貧困、そしてテロリズムと闘いましょう。それが私達にとって最も強力な武器なのです」とスピーチされました。受賞後のインタビューで「最初のパキスタン人として、かつ最年少でこの賞をいただくことをとても誇りに思います。でも年下の弟たちといまだに喧嘩をしている、ノーベル平和賞の受賞者も私が初めてだと確信しています。私と弟たちに平和が訪れるのはまだ先になりそうです。」との17才の少女らしいコメントにクスリと笑ってしまいました。

ノーベル賞は、ダイナマイトの発明による兵器開発で巨万の富を築いたアルフレッド・ノーベルが、自らの発明をつぐなう意図から設立されたものです。相手の立場に立って考え相手を思いやる気持ちを大切に、更に理由はどうあれ戦争だけは絶対に避けるべきだという強い信念を貫かなければなりません。



世界理解月間に因んで

奉仕プロジェクト委員会・国際奉仕委員会
委員長 嘉規 洋
(船橋西RC)

奉仕プロジェクト委員会・国際奉仕委員会委員長として早半年が過ぎましたが、国際奉仕活動に対してまだまだ理解不足で、分からないことだらけです。この度「世界理解月間に因んで」というテーマで寄稿依頼があり、頭を痛めて何とか書きました。

RIにより2月は「世界理解月間」と指定されています。この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されています。1905年2月23日は、ポール・ハリスら4人がシカゴで初めて会合を開いた日で、この日はロータリーの創立記念日です。創立記念日は、世界理解と平和の日 (World Understanding and Peace Day) と定められ、各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。さらに2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しました。世界平和に不可欠な国際理解と友好・親善を特に強調するプログラムを実践し、世界社会に奉仕することを各クラブに要請しています。

2013年12月現在で、世界に広がる紛争の数は40以上、その紛争地域に暮らす人々の数はなんと23億人を超えると言われていています。これは世界の3分の1の人々がなんらかの紛争の影響下に暮らしていることを意味しています。また、1日1.25ドル未満で暮らす貧困層の人々は、2010年には12億人になりました。貧困国においては武力紛争の悲惨な人的被害と貧困が更なる暴力の温床になっていると言われていています。また、貧困により教育を受けることが出来ないため、HIVなどの伝染病の知識が無く、蔓延する状態になり、多くの人々が命を奪われています。私

たちが住む日本では紛争もなければ極端な貧困もありません。従って「世界平和」といっても直接肌で感じることは出来ません。

それ故に国際奉仕活動が重要なのです。国際奉仕活動はロータリー財団の補助金を使い、海外でプロジェクトを行うことに目が向けられがちですが、その原点は「世界平和」です。今年度2790地区全クラブにアンケートをお願いして、ご回答いただいた結果、問題点として「事業(プロジェクト)の内容をクラブ内で企画できない」という回答を多く頂きました。つまり、姉妹クラブや友好クラブなどの海外とのパイプが無い場合、国際奉仕活動をしたくても何をしたらいいか分からないというのが実情だと思えます。国際奉仕の定義を要約すると「他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培い、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動である。」です。日本においてロータリーに深く関わっている外国人は米山奨学生です。米山奨学生から、自国の文化、習慣、功績、願い、問題について話を聞くことから始めてはいかがでしょうか。

2790地区内クラブではネパール、インドネシア、タイ、台湾、韓国、ラオス、カンボジア、モンゴル、スリランカ、フィリピン、メキシコ、オーストラリア、ベナン(アフリカ)、マレーシア、ベトナム、ニュージーランド、マルタ共和国、米国、マケドニア共和国、オーストラリアの国々で国際奉仕活動や友好・親善活動を行い、国際理解を深めています。(国際奉仕委員会アンケートより)

今後も更なる「世界平和」に貢献できるようクラブでご検討いただきたく存じます。



I M開催報告

第1分区ガバナー補佐
齋藤 博昭

11月14日オリエンタルホテル東京ベイにて第1分区6クラブのインターシティー・ミーティングを開催し、90余名の参加を頂きました。

本年は「友愛」をテーマにし、会員相互の親睦と知識を広めることを念頭に、さらにはロータリー情報を伝え、奉仕の理念を勉強する会と致しました。

リーダーには関口徳雄直前ガバナーをお迎えし、地区内84クラブ公式訪問時のエピソードやクラブ運営形態を話して頂き、RIについては組織の仕組みを事細かに話して頂きました。職業奉仕に関しては総論として「個人で自らの職業の中で奉仕の理念を追求し、且つ仕事を通じて自己研鑽に励むことに尽きる」と説いて頂き、大変勉強になりました。

講演としては、元読売巨人軍末次利光氏(1965年入団、川上監督率いるV9時代で長嶋茂雄、王貞治と共に5番打者としてクリーンナップを形成)にお願いし、現役時代のエピソードを話して頂きました。

一例として、練習嫌いな長嶋氏は金田氏によってしっかり練習するようになった、藤田監督は球界の紳士と言われていたが瞬間湯沸かし器であった等、昔懐かしい話を聞かせて頂き、時代を知っている多くの会員は、耳を傾けて聞き入っていました。

2部の懇親会では、6クラブの会員同士がロータリー論議や会員増強等を語り合い、親睦を深め和気あいあいの中、終了することが出来ました。

最後に、有意義なインターシティー・ミーティングを開催することが出来ました事は、諸事ご準備頂きましたホストクラブの皆さまや事務局の皆様に、心より御礼申し上げます。



I Mの報告

第2分区ガバナー補佐
渡邊 幸一

11月18日、第2分区合同例会IMを西船橋駅前の、フローラ西船を会場にして6クラブ全員登録のご協力を頂き開催いたしました。

ホスト鎌ヶ谷ロータリークラブのご支援、ご協力を頂き無事に終わることができました、内容は、本年度第2790地区宇佐見透ガバナーの「原点回帰を目指して」というテーマを基にして「原点回帰」私のロータリーをテーマに掲げ区内6クラブの会長エレクトより発表をしていただきました、原点の捉え方はロータリー経験の長い人、短い人によって違いはありますが活発に発表をしていただきました。今年度は情報研究会が地区の行事として、早々7月に開催され終了いたしました、地区全体で行われたため、区内6クラブ全体として集えるのが、このIMだけとなりました、このIMが第2分区の唯一の目玉です、楽しいイベントにし、ロータリーの情報を交換し、会員総合の親睦を深めるため多くの参加を区内各クラブに呼び掛けお願いいたしました、結果120数名の参加を頂き盛大に開催することができました。

そして基調講演にはバストガバナー森島DPGをお招きし、「原点回帰」をテーマにお話しを頂きました。森島DPGの長いロータリー経験と、豊富な知識から出されるお話に全員真剣なまなざしで聞き入っていました。主な内容を紹介します。「**多様性と相互理解—差異を認めて受け入れること**」10人10色という言葉のとおり人それぞれの顔があり考え方がございます。ロータリーは「こうだ」とは決めつけられません。いろいろの側面がありどの面を強調するかはそれぞれのロータリー観である、会員の考えもいろいろだがロータリーは違いを認め合い**相互理解と寛容の精神**によって100年以上の歴史が続いてきた。とも述べております。まだまだ紹介したいお話が沢山ありますが後日、第2分区のIM報告書にて報告いたします。最後に懇親会のアトラクションに鎌ヶ谷市芸術文化協会会長の協力を頂き津軽三味線で盛り上げていただき終了いたしました。

IMの報告

(第3分区A・B合同)



第3分区Aガバナー補佐
森島 弘道



第3分区Bガバナー補佐
林 正弘

第3分区のインターシティーミーティング (IM) は、昨年度に引き続き、分区A Bの合同で開催いたしました。合同開催にあたり、構成メンバーを両分区のAG、会長、幹事、事務局として会議を重ねてまいりました。第1回会議(4月)では、前年度の並木鷹男直前AG、石井七郎直前AGより前年度のIM実績について詳細なお話を伺いました。第2回会議以降では、IM(近隣都市数クラブが集まって開かれる会合)の内容を『5大奉仕部門をカバーしつつ親睦をベースにしてロータリーの特徴を検討する会合であること』と『親睦を中心とした各クラブ間の活性化に役立つ内容にしていく』という宇佐見透ガバナーのお考えを確認し、IMの形式、講師、会場、その他について協議し、結果、2014-15年度のIMは10月15日(水曜日)、参加者225名の式典及び講演会を開催いたしました。

講演の講師には、田中作次元RI会長をお招きし「世界のロータリー」というテーマをいただきました。

講演の内容は、田中作次氏の小中学校時代から現在

までの人生についての貴重なお話でした。特に、ロータリークラブに入会されてからご自身の生きる目的や人生の考え方が変わってきたこと、「超私の奉仕」が教えてくれること、ロータリー財団への寄付が有意義な奉仕活動に生かされることが印象に残っております。

講演後は、質疑応答がなされ充実した研修会となりました。

懇親会では、田中作次元RI会長を囲んで、和やかな雰囲気の中で分区内の皆さまの親睦を図ることができたのではないかと考えております。

この度のIMの開催にあたりましては、多くのロータリアンの皆さまのご協力、ご参加により終了することができました。皆様に心より感謝申し上げ、第3分区のIM報告とさせていただきます。ありがとうございました。

※講演内容の電子データは、分区内各RC事務局にあります。お問合せください。

文庫通信(328号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報

- ◎「2010年から活動を開始するロータリー・コーディネーター」 村上勘一 2010 1p (D.2540月信)
- ◎「コーディネーターニュース8月号-RI戦略計画とコーディネーターの責務 金杉 誠 2014 1p
- ◎「ロータリーコーディネーターニュース9月号」 安満良明 2014 1p(D.2760月信)
- ◎「コーディネーターニュース10月号-ロータリー公共イメージの推進」 渡辺敏彦 2014 1p (D.2820月信)
- ◎「コーディネーターニュース11月号-『My Rotary』を活用しよう」 高野孫左エ門 2014 1p (D.2790月信)
- ◎「全国ロータリー・コーディネーターセミナー」 小船井修一 2014 6p (D.2500月信)
- ◎「ロータリーのいろは」 深川純一 2014 9p (D.2650地区大会記念誌)
- ◎「ふたつのロータリーモットー」 久野 薫 2014 1p (D.2680月信)
- ◎「ロータリーの魅力」 久野 薫 2014 1p (D.2680月信)
- ◎「国際ロータリーの変質『ロータリー失われた10年』」 新藤信之 2014 13p

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



インターシティ ミーティングを終えて

第4分区ガバナー補佐
野村 進一

今年度11月11日に「かずさアカデミアホール」にて開催されましたインターシティミーティングは、ガバナーから地区大会前に開催して欲しいとの強い要請があり、例年より少ない準備期間や日程調整で分区クラブ内の皆様には大変なご理解とご協力を賜りましたことに改めて感謝申し上げます。そして、当日はお忙しい中たくさんの方の会員の皆様のご参加を頂き誠に有難うございました。

今年は初めての試みとして外部から地域に於いて社会貢献活動を積極的に展開している皆様からの取り組み状況やその広報活動についてご意見を頂き、併せてロータリー活動により一層のご理解を深めていただく為にパネルディスカッションを行い、明日のロータリーにつなげる会議を行いました。特にプレゼンでは白熊 大(だい)コーディネーターの絶妙な司会のもと、青少年等による地域活動への取り組みについての素晴らしい発表があり、明日に繋がるものと確信いたしました。又、基調講演では土屋亮平DPGから、職業奉仕論「商売繁盛はロータリーの基本」を教えられ、はっと気づかされたことや、会場の皆様と共に学び語り合える時間をもち得たことは大変な喜びでもありました。この様子は翌12日の千葉テレビ放送のニュース番組でも放映され広報に大いに役だったと思われまふ。これもひとえに皆様のおかげと深く感謝いたしております。

その後行なわれました懇親会では、パネリストの皆様も一緒に参加され沢山の方々と共に大いに語りあえ、そして親睦を深めることが出来ました。ありがとうございました。

これから寒さ厳しくなりますが、皆様にはくれぐれもご自愛下さいまして御礼のご挨拶を申し上げます。



IMの報告

第5分区ガバナー補佐
望月 眞

11月14日(金)南房総富浦ロイヤルホテルに於いて、第5分区6クラブ167名の登録を頂きIMを開催しました。

テーマを『青少年に夢と希望を与えて「ロータリーに輝きを」と掲げ、白鳥政孝DPGに「ロータリーの青少年奉仕について」と題して基調講演を頂きました。

「青少年奉仕の目的は指導力養成と社会奉仕(国際奉仕プロジェクトへの参加による世界平和と異文化への理解)を深め「多様性を育む・ロータリーへの理解」と、「IAC、RAC、青少年交換、RYLA各委員会の目的と期待そして現状について」をお話しいただきました。続いて青少年奉仕活動に於ける留意点について、ロータリーの中核とする価値観(親睦・奉仕・多様性・高潔性・リーダーシップ)をロータリーの遺伝子として伝えるべきであると結ばれました。私たちにとって教訓となる格調高いお話を伺うことが出来ました。

その後、特別講演として社会福祉法人「鉄研舎」理事長、養護施設ひかりの子学園園長の西網覚雄様より『つながりーひかりの子の子ども達と暮らして』と題して、子ども達が養護施設へ入園するまでの社会・家庭環境の変遷、『3.11 東北宮古』から学ぶ“つながり”について体験を通じた指導、そして「社会的養護の課題と将来像」として子どもを取り巻く厳しい実態・・・虐待・不登校・貧困等、地方分権と社会的養護の充実問題・・・都道府県格差や社会福祉法人の在り方などについて学び考えさせて頂きました。結びの「街は消え、風景は消えても、人は“つながり”の中で生きていく」はとても印象に残った言葉でした。

懇親会では、トランペットとフルートの「デュオ・カプリオ」の演奏を楽しみ、ホストクラブの会員が各テーブルに付きお世話をし、情報交換をし、交流を深める意義あるIMとなりました。



IM報告書

第7分区ガバナー補佐
杉山 俊明

第7分区のIMは、11月30日、銚子クラブの主管の下「太陽の里」を会場に4クラブ102名の参加を得て開催する事が出来ました。

本年度のIMテーマは、ロータリー活動の大きな柱の一つである「親睦」とし、中でも「手続き要覧」の家族の項に—全てのクラブとロータリアンは諸活動を計画する際会員の配偶者、家族の事を考慮に入れるべき—とある様に、ロータリー活動の基盤は家庭の中にあり、家族に理解されてこそ、ロータリーの活動が内外に理解されるとの考えの下、配偶者同伴の企画をし29名の配偶者の方に参加して頂きました。

基調講演には、故織田吉郎PG令夫人の織田悦子様を迎え、ロータリアンの家族として育った事、結婚後ロータリアンとなったご主人と共に銚子クラブや2790地区で、又はガバナー夫人として国際大会で経験した事やロータリーを通じて多くの人々と知り合った事、ロータリアンの配偶者としてロータリーに関わってきた事や感じられた事などをお話し頂きました。続いて、私がコーディネイターとなり各クラブのクラブ奉仕委員長をパネリストとして、「ロータリーに於ける親睦」についてパネルディスカッションを行いました。限られた時間ではありましたが、「ロータリーに於ける親睦の本来の意味やあり方」、「家族にロータリー活動を理解して貰うには」、「配偶者とロータリー活動を共に行うには」など活発な意見交換が行われました。又、各クラブ奉仕委員長が次年度会長と云う事もあり、多少フライング気味ではありますが次年度に向けての考え方もお話し頂くことが出来ました。その後、前年度ガバナー補佐椎名正良様への感謝状贈呈、次年度ガバナー補佐黒田幸一様並びに次年度各クラブ会長幹事の紹介のセレモニーを経て閉会した後、4クラブ会員が相互に懇親できる設営と銚子クラブ会員によるショーで懇親会を行い有意義な中にも楽しいIMを終了する事が出来ました。



Intercity Meeting 報告書

第8分区ガバナー補佐
川原 勝壽

会員数の少ない最小分区を何とか元気づけたいという気持ちで、IMを企画する。

10月26日(日)、開催日当日は、心配したお天気も、直前に打ち水を打ってくれたほどの短時間の雨で、あとは取り越し苦労であった。

ガバナー補佐主催となった今回のIMでは、「幸運の鐘のお話」をさせてもらった。もげた首を傾けて接着してしまった佐原クラブのゴングの話である。かしげたゴングが、私に「このままでいいのか、ロータリー！」と問いかけてくるという、たわいない話である。過渡期に、「茹で蛙」でよいのかという自問自答である。

今回は、ディスカッションのテーマとしてそのまま使ったという次第である。

ディスカッションには、4名の方に、ファシリテーター役をお願いした。白鳥政孝様、石井七郎様、中村俊人様、吉岡政樹様である。ファシリテーター(facilitator)とは、グループ・ディスカッション等において、効率的に、充実したディスカッションができるように、議論の進行を促進し、助長する役目を遂行する人のことである。

決してロータリー用語ではないことを注記したい。

4会場に分かれての1時間のディスカッション・タイムは、あっという間に過ぎ去ってしまうほどの面白い展開であったようだ。

ディスカッションには、実は第2部を準備していた。懇親会である。そこでもディスカッションの続きができるように、テーブル配置に気を配った。狙いは当たったようである。写真が掲載できれば、その雰囲気が分かるのだが。1時間の懇親会には不満が出た。それだけ楽しい会話に花が咲いたということだと、善意に解釈しよう。二次会に繰り出した方もいると聞く。

IMの主役が最後になった。基調講演を「親睦と奉仕の調和……ガバナー年度を終えて見えてきたこと」と題して、2013-14年度ガバナー・関口徳雄様をお願いする。軽妙な語り口で、職業奉仕を説かれたのはさすがである。感謝！



I Mの報告

第9分区ガバナー補佐
青木 貞雄

第9分区2014-2015年IMは、研修と親睦を目的として、ガバナー補佐主催により、10月15日（水）14時から19時まで、ホテル日航成田で、6クラブ140名が参加して（全員登録で当日の出席率は58%）開催しました。

第1部の6クラブ合同例会は、ガバナー補佐及びホストクラブ（成田CRC）会長による歓迎挨拶の後、分区の現状についての共通認識醸成を目的として、クラブが抱える問題点、並びに本年度重点施策につき、各クラブ会長より発表がありました。卓話は、ロータリーの現状しか知らない会員が多い中、親睦から奉仕へ、そして会員増強・財団へと移り変わってきたロータリーの歴史と活動方針変遷につき、地区研修リーダー崎山征雄PGにパワーポイントを使ってお話いただきました。その後、設楽直前ガバナー補佐に感謝状・記念品贈呈、及び伊藤仁次年度ガバナー補佐の紹介を行い、15時30分点鐘しました。

第2部は、我々が直面し、かつ、避けて通ることの出来ない少子化・高齢化、そして来る人口減少時代における日本経済の将来について、時事通信社小林伸年編集委員に「わたしたちが見る風景～少子化と日本経済の将来～」と題して特別講演をお願いしました。

2050年の中位推計人口9,708万人は、2008年をピークとする1900年代に入ってから「生めよ、増やせよ」で急増した人口が、従前の伸びの延長戦上に回帰するもので、現在大騒ぎする問題では無い。しかし、第1子の出生率に大きな変化はないのに、晩婚化で第2子・第3子の出生率が大きく低下している点の改善が必要等の示唆に富んだ講演でした。

17時25分に始まった第3部懇親会は、握り寿司等の屋台が出る豪華な雰囲気の中、おいしい食事とお酒で大いに盛り上がりましたが、予定の19時、全員で「手に手つないで」を歌ってお開きとなりました。尚、式次第、参加者名簿等を盛り込んで予め作成したプログラム小冊子の巻頭に、宇佐見ガバナーよりご挨拶文をいただいたことにつき、この場を借りて、お礼申し上げます。



I M報告

第12分区ガバナー補佐
高崎 信昭

去る10月16日（木）本年度第12分区IMが、ザ・クレストホテル柏で開催された。分区内出席者約140名、近隣分区のガバナー補佐、会長幹事様にもご出席いただいた。

IMのテーマは、ゲイリー・ホアンRI会長が提唱する「ロータリーに輝きを」とした。ロータリアンとしての自覚・誇り・使命感を持ち、自らの職業を通じて社会の一隅を照らせ」と受け止めたからに他ならない。

開催に当たっては“会員相互の親睦と面識を広め”“ロータリー情報を伝える”と共に“立派なロータリアン養成の場”としての目的達成である。

ゲストスピーカーには、幸運にも2012～13年度RI会長田中作治様をお迎えすることができた。

世界200ヶ国・地域に、34,000クラブを擁し、120万会員で組織されるロータリークラブ。その最高指導者のお話を拝聴できることは、誠に光栄であり期待に心を躍らせた。

田中作治元RI会長には「世界のロータリー」というテーマでご講演頂き、ご自身の生い立ちや事業に対する考え方、ロータリアンとしての在り方など、感動的なお話を承った。

引き続きトークショー形式で、出席者の疑問や関心事について質疑応答が行われた。

田中元RI会長の、飾らないお人柄・ユーモラスで率直・明快なご回答に、出席者は納得し共感し、感動的であった。

続いて行われた懇親会も、親睦と友情を育む絶好の機会として、たいへんな盛り上がりを見せた。近隣ロータリークラブの、女性会員が所属するフラダンスチームの踊りは、懇親会に花を添えたことを付け加えたい。舞台に誘われた田中元会長も、一緒に踊られる和やかな舞台だった。

分区内会長はじめ会員の皆様、窮屈な準備期間の中で開催を成功裏に導いた実行委員会の皆さんに、衷心より感謝と御礼を申し上げ報告としたい。



ライジェック 「RIJYEC」について

Rotary International Japan Youth Exchange Committee

NPO法人国際ロータリー日本青少年交換委員会
RIJYEC保険管理 津留 起夫
(市原RC)

●RIJYECの生い立ち

RI理事会は、2002年11月「青少年と接する際の行動規範に関する声明」を出しました。その声明に基づきRIは青少年交換プログラム（YEP）へ参加する青少年を守る為に、各地区に対して「3つの条件をすべてクリアしない地区は、今後YEPへの参加を認めない」との方針を2005年に打ち出しました。その3つの条件とは、①地区危機管理委員会を作る、②地区あるいは地区青少年交換委員会を法人化する。③その法人は虐待およびハラスメント防止を目的とした保険に入る事でした。この3条件を満たした地区がRI認証地区と認められたのです。

そこで認証を取得する為に、①は各地区で立ち上げることが出来るものの、②と③は地区が独自で対応することは大変困難であるということから、日本34地区がまとまって対応する事となり、ガバナー会議長、元RI青少年交換委員、弁護士、各地区のベテラン青少年交換委員長など13名の方々からなるRI指針検討委員会を立ち上げ、元々ガバナー会にあった青少年交換委員会を2007年7月6日NPO法人RIJYECとして改組し、その結果②、③がクリアされ34地区が「RI認証地区」を取得しました。現在、当地区研修リーダーの崎山PGがRIJYEC社員として就任されております。

●現在の課題

当時RIJYECは、ロータリー章典（RCOP）に準拠した、来日学生のケガや病気の際に使いやすい海外旅行保険（OTI）を策定しようとしていました。学生が持ってくる外国語の保険約款ではいったい何が補償されるのか、限度額や免責事項などはかいもく分かりません。時には、大きな手術が必要となり、医療費を請求するのに、ホスト地区あるいはクラブが一時立替をして、後に保険会社に請求をすることになっても、請求手続きはすべて英語に翻訳しなければならないという大変な思いをした事もありました。これは、やはり滞在期間が長いホスト国での保険が必要であると同時に我々が使いやすい保険であること、それが学生を守るという結論から策定作業に入りました。その間、法改正があり3か月以上滞在する外国人に対し国民健康保険（国保）の加入が義務化した為、医療費に関わる補償項目が重複してしまいます。そこで、国保とOTIを組み合わせた「RIJYEC保険プラン（RIP）」を創りました。この保険が、いまオーストラリアを中心に議論となっています。それは、今まで持たせていた自国の保険が、日本の保険に取って代られるので、そこには利害関係が生じます。ですからRIPについては、交換覚書を取交す際に合意をすることを34地区に要請しております。浸透には時間がかかりますが、「青少年は我々が守る」という方針を堅持しなければなりません。

●今後の展望

現在地区の再認証は保留になっています。原因は、このプログラムに参加するすべての人物について、犯罪歴を調査することが認証条件になっている為です。日本では犯罪歴を誰も警察機関から取ることはできません。その為、最初に認証申請をした時は、危機管理委員会の承認でその犯罪歴調査に替えることとしていましたが、RIの見解が厳しくなった事並びに諸外国でも犯罪歴を確認できるようになった為、日本にもその実行が求められたのです。しかし、RIへは取得が不可能との公的資料を提示しており、来年1月末には解決する予定です。

また各地区委員会は、実際の学生に対する奉仕活動支援とは別の事務作業が数多くあり、例えば、地区再認証手続きやRIへの報告等があります。今後は、このような共通事務手続きや危機管理支援等の窓口を一本化する「マルチ地区設置」の検討を行う予定です。



地区ロータリーデーの開催について

広報公共イメージ委員会
委員長 金本 元章

【ロータリーデー】

ロータリーとはどのような団体であり、何をしているのかを広く伝えるために、どうすべきかを思案していた状況で選択肢は沢山ありましたが、今回は千葉市PTA連絡協議会との共催でロータリーの認知度の向上を検討し実践してみました。国際ロータリー第2790地区内では、各クラブでのロータリーデー開催を随時行っている状況です。地域の方々に、ロータリーの存在及び奉仕活動を理解して頂くよう働きかけることです。地区広報公共イメージ委員会では、「希望の風奨学金」プログラムによる認知度の向上及び理解して頂くために、東日本大震災で被災した遺児達の夢、希望を断ち切らない為のプログラムとして、宇佐見ガバナーが推し進めている「希望の風奨学金」をロータリーデーとして掲げて、平成26年11月14日（金）千葉市民会館 大ホールにて執り行うことができました。

【コラボレーション】

今回のロータリーデーは、千葉市PTA連絡協議会・研究大会「育もう 子どもの心に夢と希望と優しさを」との共催によりロータリーデー「希望の風奨学金」を開催することができました。今回の共催は、これからのロータリー活動に多くの波紋を落とす程の意味を持っているのではないかと考えています。共催による参加者が800名及び、来賓が千葉市長を始めとして教育長、千葉市中学校長会、千葉市小学校長会の方々に御出席して頂いたのも、千葉市PTA連絡協議会とのコラボレーションの賜物だと考えております。しいては奉仕活動（プログラム）の内容が皆様のご理解を得るプログラムであったと考えております。

【進行プログラムの内容】

9時30分・集合 10時・開会・点鐘 — 地区広報公共イメージ委員長挨拶
来賓紹介・来賓祝辞 — 講演者紹介・講演 — 謝辞（宇佐見ガバナー） — 花束贈呈
閉会・点鐘 以上

【記念講演】

講師として、文部科学省教科調査官・生徒指導調査官、国立教育政策研究所総括研究官・教育課程調査官である、長田 徹氏による、演題「社会総がかりでの人づくりを」東日本大震災を体験しても尚、震災当日に主たる被害地に赴き現地を見てきた先生が今日までの状況をお話しして頂く中、復興は確実に進んで来ていますがそれだけではなく、子供や青少年達を見守り育てる事の重要性を説いていました。将来、地域社会や母国の為になる人材の芽を摘むのではなく、入り口を広げて受け入れる場を作っていくことが子供達の将来を考えてやれるのではないのでしょうか。今回の千葉PTA連絡協議会との共催大会は、これからのロータリーが取り組むべき方向性を見つけられるのではないのでしょうか。

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付 年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



田中 正道
(市原中央RC)
7回目



飯島 俊一
(袖ヶ浦RC)
7回目



三浦 勇
(君津RC)
3回目



新井善太郎
(市原中央RC)
2回目



樋渡 琢也
(八街RC)
2回目

(ポール・ハリス・フェロー)



根本 泉
(市原中央RC)



大島 博幸
(館山RC)



鈕持 純一
(君津RC)

ポリオ・プラス

米山功労者



齋藤 博昭
(浦安RC)
10回目



諸岡 靖彦
(成田RC)
7回目



廣田 二郎
(君津RC)
5回目



武田 勲
(市原中央RC)
4回目



梶 暉芳
(木更津RC)
4回目



松田 泰長
(木更津RC)
3回目



服部 裕介
(鎌ヶ谷RC)
1回目



宇津木三雄
(市原中央RC)
1回目



小栗 次雄
(市原中央RC)
1回目



鈕持 純一
(君津RC)
1回目



森 秀樹
(柏南RC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



渡辺 一浩
(勝浦RC)
水産物養殖
9月2日入会



前田 和美
(柏南RC)
健康アドバイザー
11月11日入会



吉田 和義
(木更津東RC)
税理士
1月7日入会



笹川 英一
(八街RC)
鉄工所
1月7日入会



鷲見 隆仁
(千葉南RC)
医療法人
1月9日入会

物故会員 (敬称略)



中島 志郎 (千葉港RC)
逝去日: 2014年6月30日 (享年87歳)
入会日: 1985年1月15日
1989-1990 クラブ会長
2001-2002 ガバナー補佐



古谷 健一 (千葉港RC)
逝去日: 2014年11月28日 (享年70歳)
入会日: 1989年9月28日
1987-1988 クラブ会長
2009-2010 クラブ会長



林 安治 (習志野RC)
逝去日: 2014年12月10日 (享年90歳)
入会日: 1969年7月1日
1986-1987 クラブ会長



湯浅 敏一 (松戸東RC)
逝去日: 2014年12月117日 (享年81歳)
入会日: 1974年1月4日
1995-1996 クラブ会長



平山 金吾 (成田RC)
逝去日: 2014年12月27日 (享年80歳)
入会日: 1977年9月1日
ロータリー歴
1991-1992 クラブ会長
1996-1997 分区代理
1997-1998 ガバナー
2013-2014 R米山記念奨学会副理事長



山口 廣雄 (銚子東RC)
逝去日: 2015年1月7日 (享年89歳)
入会日: 1973年3月20日

R I 第2790地区（千葉）2014年12月出席・会員数報告

分 区	クラブ名	出席率 %	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第1分 区	市川	100.00	3	39	0	40	0	1
	市川東	100.00	3	41	0	41	0	0
	市川南	75.00	4	17	2	17	2	0
	浦安	81.90	3	33	0	37	1	4
	市川シビック	90.32	4	34	0	36	0	2
	浦安ベイ	66.67	3	15	0	16	0	1
第2分 区	船橋	98.61	3	23	0	25	0	2
	船橋西	88.71	4	41	5	40	5	△1
	鎌ヶ谷	88.75	3	26	2	29	2	3
	船橋東	88.71	3	28	2	28	1	0
	船橋南	82.22	3	20	4	20	4	0
	船橋みなと	80.00	3	20	5	20	5	0
第3分 区A	千葉	83.47	4	66	1	71	1	5
	新千葉	86.16	3	43	0	47	0	4
	千葉西	85.21	3	63	5	65	5	2
	千葉中央	80.75	4	34	0	33	0	△1
	千葉幕張	78.66	3	37	3	38	3	1
	千葉東	84.95	3	31	4	31	3	0
第3分 区B	千葉若潮	75.31	3	29	2	31	2	2
	千葉南	82.00	3	49	6	50	6	1
	市原	76.19	4	42	2	43	2	1
	千葉港	87.88	3	26	1	24	1	△2
	市原中央	86.02	3	50	2	47	2	△3
	千葉北	65.22	3	23	2	22	1	△1
第4分 区	千葉緑	81.33	3	26	3	27	3	1
	木更津	79.03	4	34	3	33	3	△1
	上総	65.28	4	18	0	18	0	0
	富津	87.50	3	14	0	16	0	2
	富津中央	85.53	4	24	1	24	1	0
	木更津東	88.78	4	40	0	41	0	1
	君津	95.12	3	39	1	44	1	5
	袖ヶ浦	95.45	4	21	3	22	3	1
第5分 区	富津シティ	77.80	3	14	1	15	1	1
	館山	92.89	3	59	3	58	3	△1
	鴨川	88.89	3	35	7	34	7	△1
	勝浦	86.48	4	36	5	35	5	△1
	千倉	83.33	2	10	1	9	1	△1
	鋸南	95.71	3	14	1	14	1	0
第6分 区	館山ベイ	74.56	3	20	0	20	0	0
	茂原	97.07	3	57	3	62	3	5
	東金	91.30	3	21	1	23	1	2
	大原	74.50	4	19	3	19	3	0
第6分 区	大多喜	100.00	4	7	1	7	1	0
	成田空港南	77.08	3	35	0	35	0	0
	茂原東	89.28	4	22	2	22	2	0
	茂原中央	78.57	3	14	2	14	2	0
	大網	77.50	4	29	1	30	1	1
	東金ビュー	65.60	3	25	1	23	1	△2
第7分 区	銚子	92.16	3	42	4	44	4	2
	旭	85.60	3	43	2	44	2	1
	八日市場	92.60	3	40	2	39	2	△1
第8分 区	銚子東	93.69	3	39	2	41	2	2
	佐原	89.06	4	44	0	47	0	3
	多古	75.00	4	14	0	14	0	0
第9分 区	小見川	89.39	3	21	0	22	0	1
	佐原香取	83.14	4	27	0	28	1	1
	成田	100.00	3	66	1	65	1	△1
第10分 区	八街	86.41	4	30	1	31	1	1
	印西	79.34	4	24	0	24	0	0
	白井	82.25	4	17	0	20	0	3
	富里	73.19	4	27	0	28	0	1
	成田コスモポリタン	74.90	4	70	0	69	0	△1
	柏	73.00	4	49	9	53	9	4
第11分 区	我孫子	70.50	3	26	1	25	1	△1
	柏西	83.62	3	59	4	58	3	△1
	柏東	93.72	3	28	3	30	3	2
	柏南	89.80	3	32	5	33	5	1
	習志野	83.58	4	28	1	28	1	0
	八千代	84.00	3	46	0	47	0	1
第12分 区	佐倉	56.94	4	17	2	18	2	1
	八千代中央	94.20	3	27	0	28	1	1
	四街道	81.33	3	25	3	24	3	△1
	習志野中央	72.00	4	48	5	50	5	2
	佐倉中央	61.40	3	18	3	19	4	1
	松戸	90.77	3	56	0	59	0	3
第13分 区	松戸東	90.86	3	48	0	47	0	△1
	松戸北	82.61	4	37	0	36	0	△1
	松戸中央	89.38	3	31	1	35	4	4
	松戸西	87.07	4	24	0	29	0	5
	野田	79.46	4	55	5	56	6	1
	流山	77.08	3	16	4	16	4	0
第13分 区	野田東	83.33	3	31	0	31	0	0
	流山中央	90.70	2	22	0	22	0	0
	野田セントラル	70.67	3	24	0	24	0	0

クラブ数 84RC	2014年7月1日	地区会員数	2,714人	当月平均出席率	84.60%
	2014年12月末日	地区会員数	2,780人	増減	+66
	2014年7月1日	地区女性会員数	149人	女性会員増減	+4
	2014年12月末日	地区女性会員数	153人		

2月のロータリーレート
118円

第2790地区内 クラブ バナーの由来

千葉西ロータリークラブ

昭和26年植物学者の大賀一郎博士が千葉市内で2千年前のハスの実を発見、開花に成功。「オオガハス」と命名され、市内はもとより全国や世界各地へ花の親善大使として移植されました。美しさとともに太古の生命力を感じさせるこの「オオガハス」を当クラブ山本康昭パスト会長がデザインし、第3代目のバナーとしました。



白井ロータリークラブ

白井市は日本有数の梨の産地であり、バナー中央にあるキャラクターは白井のイメージキャラクター「なし坊」です。バナーの白色は白井の「白」を、周りの水色は湧き出る泉(井戸)を表現して白井の「井」を表しています。下方には市花のサツキを描き、日本地図には白井の位置を示しました。



野田東ロータリークラブ

色合いは利根川と江戸川に挟まれていますので水色を起用しました。

絵柄は千葉県指定無形民族文化財指定の ぼっばか獅子舞 です。

7月24日に八幡神社【清水】で疫病退散、五穀豊穡を願い棒術や居合術、獅子舞を奉納します。



市川南ロータリークラブ

行徳(市川南) 一帯は、水鳥の生息地として有名です。宮内庁の新浜鴨場もここに有ります。

鴨と宮内庁の鴨場は行徳地区の象徴です、バナーは宮内庁の鴨場を鴨が飛んでいる風景です。

鴨料理の美味しいお店も有りますが、会員は足を運びません。



船橋東ロータリークラブ

船橋の東部地区は、そのほとんどが新興住宅地であるため、昔からの伝統的なものが皆無にひとしく、一目で『船橋東』を表現出来る素材を探すのに苦労しました。

結局、新興地であることで、デザインもスッキリとグラフィック的な処理をすることにしました。

英文頭文字のF(f)をデザイン化して中央に配し、上部三段階の黄色のチャートは、明るくサンサンと輝く太陽の光をデザインしたものです。

限りなく明るく、限りない将来性をイメージしてデザインしたものです。



千葉中央ロータリークラブ

千葉市は縄文文化の昔から、豊かな水と自然の緑にかこまれた明るい街です。

「千葉中央ロータリークラブ」のマークはこの水と緑に恵まれた環境を背景に、健康な太陽色で象徴しました。

いつまでも変わらぬ仲良しのスクラムで奉仕活動をつづけてゆきたいという私たちのねがいがこの中にこめられています。



船橋南ロータリークラブ

中央に配置された三枚の葉は、地元「葛飾」の名前の由来である葛の葉である。

また、その葉を囲むように青色の井桁が配置されている。「青」は、古くからあった勝間田池を表し、「井桁」の様に力を合わせて地元を支える、という志を全体で表現している。



行事予定(2月)

3日(木)	第10分区IM	ザ・クレストホテル柏
8日(日) 12:00~14:00	第5回地区諮問委員会	ホテル ザ・マンハッタン
21日(土)	地区大会第1日目	アパホテル&リゾート東京ベイ幕張
22日(日)	地区大会第2日目	